

登録コード:MH150400 開講年度:2026		授業科目区分	専攻専門科目	必修
科目名	看護管理論【20M以降】 Nursing Administration			
担当教員	佐藤 奈保 他 新井 清美・平林 優子			
対象専攻/学年、講義期間、曜日・時限	看護学専攻/4年 後期(前半) 木曜・1時限 木曜・2時限			
単位数、講義室	1単位	多目的講義室	遠隔授業科目	
信大コンピテンシー	該当			
授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素		授業の達成目標	
	MH22カリ・保健, MH20カリ・保健			
	保健・医療・福祉の現場において、専門職者として自己の責任を自覚し、チームの一員として協働活動に参加できる。		看護専門職として看護管理の基礎的知識を獲得し、看護管理の視点を持ってチームの一員としての協働活動に参加する認識を持つことができる。	
	MH25カリ・保健・看護, MH23カリ・保健・看護			
	基礎的・専門的な知識と技能 看護専門職者に必要な幅広い教養と基礎的・専門的な知識・技能を修得し、さまざまな状況で活用できる。		看護専門職として看護管理の基礎的知識を獲得し、看護管理の視点を持ってチームの一員としての協働活動に参加する認識を持つことができる。	
授業で学べる「テーマ」	科学的探求力 変化し続ける社会で派生する多様な課題に対して、地域・国際的な視点から、科学的・倫理的・道徳的・創造的に課題に対応していく探究心と、課題克服や目標達成に向けて生涯をかけて取り組む力が身についている。		病院における看護管理の実際を看護管理者のシャドウイング実習において、看護管理論での学習をもとに各自分析することができ、さらにグループで分析結果と統合して授業内で発表・共有することができる。	
	健康長寿、キャリア			
全学横断特別教育プログラム				
授業概要	変化する社会に対応し、人々の健康に質の高いヘルスケアを提供するために必要な看護管理の基礎的な知識を習得するための授業です。看護管理はすべての看護職が行う活動であり、専門職者としてマネジメントの視点を持ち、役割が遂行できる個人と組織をつくる能力になります。本授業においては、看護管理の基礎的な概念や理論、方法論を学び、各自が看護管理の視点から、自己の専門職としての責任やキャリアについて自らの考えを持つことを目指します。また保健・医療・福祉の現場においてチームの一員として協働活動する認識を獲得します。看護管理の実践者をゲスト講師とし、実際の看護管理について学ぶ機会を予定しています。 本授業は、1年次の「看護学概論」での看護の役割、歴史、制度、看護の活動領域などの知識や、「看護学概論」「看護学方法論」の医療安全に関する知識を基盤として学修します。また、3年次の看護の専門分野の各実習科目での知識と関連しながら学びます。科目担当者は医療機関での実務経験等を活かした授業を行います。また授業は男女共同参画に関連する内容が含まれます。			
授業計画	第1回(10月1日2限) 看護管理の基本 協働・リーダーシップ・看護マネジメント 佐藤 第2回(10月8日2限) 何のための看護管理か 看護管理で重要なこと ゲスト講師 第3回(10月15日2限) 看護組織・サービスマネジメント 人・モノ・情報・コストの管理 ゲスト講師 第4回(10月22日2限) 社会人基礎力 看護職としてのキャリア形成 新井 第5回(10月29日2限) 医療と経済 病院経営と看護管理 ゲスト講師 第6回・7回(11月5日1.2限) 演習(前半G):管理者見学実習 佐藤・新井・看護部 第6回・7回(11月12日1.2限) 演習(後半G):管理者見学実習 佐藤・新井・看護部 第8回(11月19日1.2限)1限 各グループ自己学習時間分 2限 発表・授業アンケート 佐藤・新井			
授業の進め方	本授業は教科書、スライド、配布資料に基づいて進めます。能動学習による理解の発展を目指すため、予習による授業の準備に基づく教授、授業内での質疑応答、授業へのリアクションペーパーへの自己の考えの表明を行います。また、演習として病院での管理者のシャドーイング等により、管理の実際を考える機会を得ます。グループディスカッションにより、意見の共有を行い、発表し、課題の提出を行います。			
テキスト,教材,参考書	テキスト: 吉田千文他編.ナースンググラフィカ 看護の統合と実践 看護管理.メディカ出版.最新版. 参考書: 適宜紹介します。			
成績評価の方法	提出課題(各授業のリアクションペーパー、グループワーク課題、実習記録内容)で評価し、総合点を100点とした場合の60%以上を合格とします。 各回の授業のリアクションペーパーを40%、課題提出内容60%(実習記録内容50%、グループ課題10%)に換算して評価します。各回のリアクションペーパーの提出がない場合は、その回の配点は0点とします。 総合点で60点以上が合格です。			

成績評価の基準	総合得点は、「90-100点(秀)」、「80-89点(優)」、「70-79点(良)」、「60-69点(可)」とします。 実習記録・グループワーク課題については、(i)課題で問う内容に合致する、()テーマについて十分な量・内容の記載がある()記載がわかりやすく明瞭である、()自分の見解が提示できる、()体裁が適切である、の視点で評価し、「5項目を満たし優れた視点で記述できる：秀」、「5項目を十分満たしている：優」、「5項目について内容が浅いあるいは欠損がある：良」、「5項目について不十分、欠損する内容があるが、課題の回答とはいえる：可」と判断します。 リアクションペーパーについては、求められている内容を記述している、自分の考えを表明できている、十分な表記がある(簡単すぎない)、という3点で各回を評価し、「3項目を十分満たす(秀)」、「3項目を満たす(優)」、「3項目を満たすが浅い(良)」、「3項目に不足はあるが課題の回答とはいえる(可)」とします。
事前事後学習の内容	事前・事後学習：授業中あるいは授業の終了時に今回の授業で確認しておく内容を伝えま す。また、次の授業までに自己学習しておく内容を説明します(数回前に説明すること もあります)。次回の始まりに、課題について質問をすることがありますので準備して授業 に臨んでください。グループディスカッションする内容については、共有し意見をまとめ る課題を出します。個々の学習・準備が必要です。テーマについてグループで話し合い、 各自が準備をして参加してください。 本授業の単位修得には45時間の学修が必要であるため、以下のような学修時間を必要とし ます。授業時間16時間(2時間×8回)+自己学習時間29時間(3時間×8回+5時間グルー プ学修課題)=45時間
学生へのメッセージ並びに質問 ，相談への対応	相談への対応：毎回の講義時、あるいは個別に対応する。 相談先：佐藤奈保 e-mail:naho_sato@shinshu-u.ac.jp 新井清美 e-mail:k_arai@shinshu-u.ac.jp